

環境戦略·研究開発戦略説明会

研究開発戦略

グローバル・イノベーション・リーダーに向けて

2021年2月25日

株式会社 日立製作所 執行役常務 CTO 兼 研究開発グループ長 兼 コーポレートベンチャリング室長 鈴木 教洋

本日お伝えしたいこと



1 カーボンニュートラルに向けた研究開発投資拡大

2 日立グループに加わった日立ABBパワーグリッド、日立Astemoと 環境分野におけるイノベーション創生

3 Lumada事業拡大に向けた研究開発の加速



研究開発戦略

Contents

- 1. 研究開発グループのめざす姿
- 2. 価値起点でのイノベーション創出
- 3. Lumada事業拡大に向けた技術開発加速
- 4. まとめ



研究開発戦略

Contents

- 1. 研究開発グループのめざす姿
- 2. 価値起点でのイノベーション創出
- 3. Lumada事業拡大に向けた技術開発加速
- 4. まとめ

1-1 研究開発の方向性



地球規模の社会課題

- ・気候変動
- 資源不足
- 高齢化による人口構造変化
- ・都市化の課題/レジリエント化

COVID-19の影響

- 人の移動の制限・生活様式の変化
- ・「非接触」「リモート」「自動化」
- サプライチェーンの寸断と再構築
- サステナブル/レジリエントな社会

研究開発の方向性

製品/SIから顧客協創へ (2015年度~)

- ・ 顧客協創による将来ビジョン創生、 顧客課題の解決
- 。デジタル・イノベーション

価値起点のイノベーションへ (2020年度~)

- 人間中心社会に向けて「環境価値」 「社会価値」「経済価値」の実現
- 。OT×IT×Products総合力

1-2 研究開発グループ基本方針



SDGs、Society 5.0を牽引するグローバル・イノベーション・リーダーになる

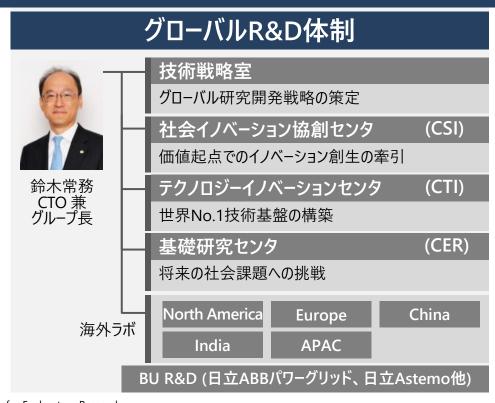
基本方針

価値起点のイノベーション創生

- 「環境」「レジリエンス」「安心・安全」分野のイノベーション 創生、No.1技術開発を推進
- 日立ABBパワーグリッドおよび日立Astemoの技術力、 人財、顧客チャネルをフル活用し、総合力発揮

Lumada事業拡大へ貢献

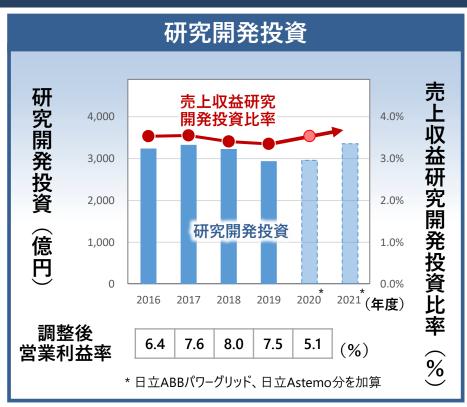
•価値創生を支えるLumadaプラットフォームに向けた 技術開発加速

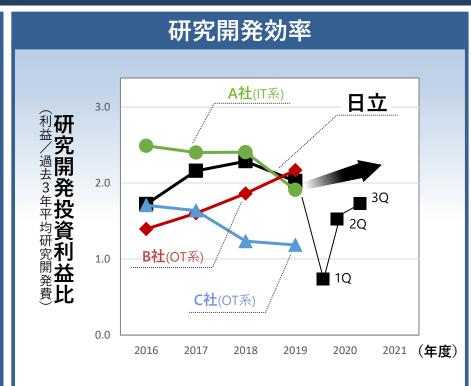


1-3 日立グループ全体の研究開発投資



環境、デジタルでの成長に向けて研究開発投資を強化

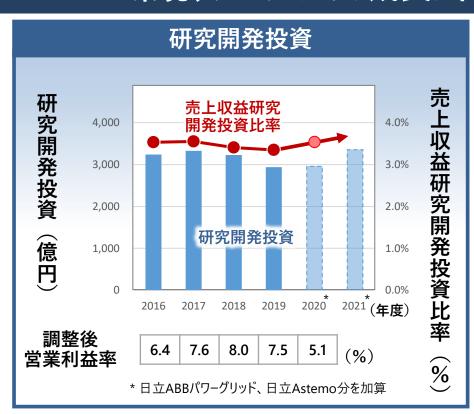


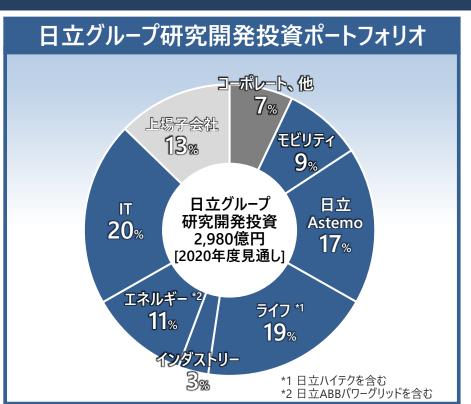


1-3 日立グループ全体の研究開発投資



環境、デジタルでの成長に向けて研究開発投資を強化



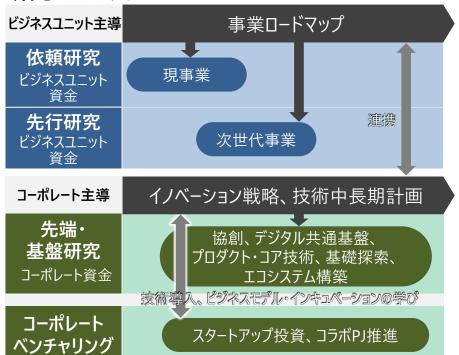


1-4 研究開発グループのポートフォリオ

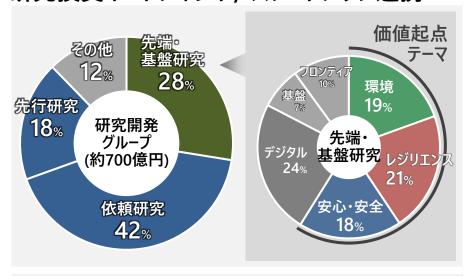


価値起点でのイノベーション創生へコーポレート研究開発投資を強化

研究ターゲット



研究投資ポートフォリオ / スタートアップ連携



- ・スタートアップ(7社へ投資)との協業を通じ、 ライフサイエンス、次世代トラスト基盤、コンピューティング など新しい価値の創造を加速
- ・2020年7月には、株式会社ハピネスプラネットを設立

1-5 主な社外表彰



日刊工業新聞十大新製品賞(増田賞) / R&D100



市村産業賞貢献賞



市村地球環境産業賞



環境賞·優秀環境賞



超モノづくり部品大賞



R&D100



<u>グッドデザイン賞</u> 11件



© Hitachi, Ltd. 2021. All rights reserved.

RoHS2向けフタル酸類検査装置

ピートウオッシュ

BW-DKX120F

Lumada事業成長への貢献 1-6



Lumadaアライアンスプログラムでの協創、日立のアセット×デジタルにより事業を拡大

2020年度*2 2021年度*2 2019年度 Lumada事業売上*1 研究開発グループ貢献/全社 (千億円)

*1 日立ABBパワーグリッドの業績は含まず *2 見込み値、もしくは計画値

Lumadaアライアンスプログラム による強化



他分野の 研究アセット × Lumada



エネルギー/モビリティ × Lumada





研究開発戦略

Contents

- 1. 研究開発グループのめざす姿
- 2. 価値起点でのイノベーション創出
- 3. Lumada事業拡大に向けた技術開発加速
- 4. まとめ

2-1 社会課題の解決に向けて



社会や顧客の変化を捉え、産官学にてビジョン策定、世界へ発信

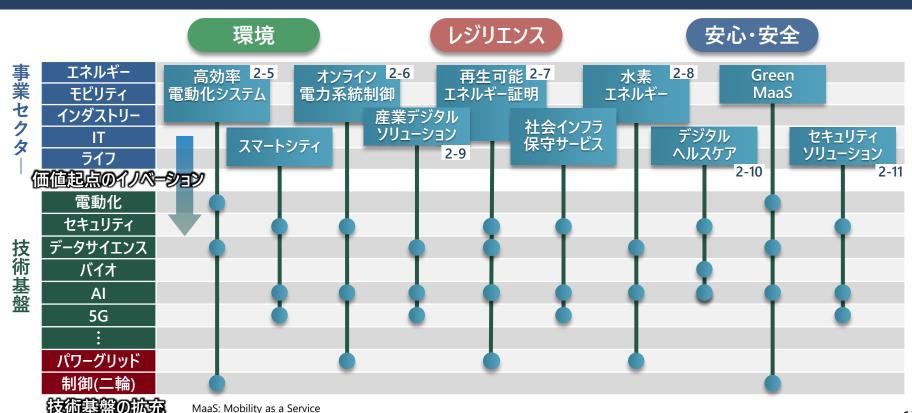


WEF: World Economic Forum, C4IR: Center for the 4th Industrial Revolution, DFFT: Data Free Flow with Trust, MoU: Memorandum of Understanding, * https://jp.weforum.org/centre-for-the-fourth-industrial-revolution-japan/

2-2 価値起点でのイノベーション創生及び技術基盤の拡充



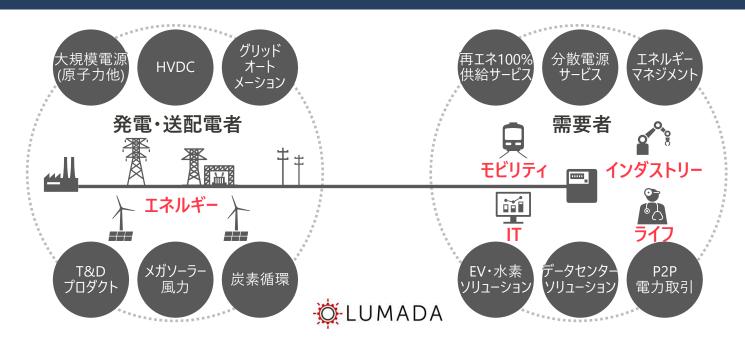
「環境」「レジリエンス」「安心・安全」 にフォーカスし、世界No.1技術の開発



2-3 日立ABBパワーグリッドとのイノベーション創生



日立ABBパワーグリッドと日立の技術基盤のシナジーにて環境のコア事業育成











日立の持つ技術基盤









日立Astemoとのイノベーション創生 2-4



日立の研究開発力を梃子にCASEを牽引するグローバルリーダーへ

- マルチモーダル輸送ソリューション
- MaaS (サービスとしてのモビリティ)
- エネルギー管理システム



- サイバーセキュリティ
- データの蓄積とAI解析
- OTA



コネクテッド車両技術 車載デバイス、ソフトウェア

Astemo

AD/ADAS

高度外界認識 統合電子制御

xEV

先進電動パワートレイン・システムユニット

先進シャシー

統合車両挙動制御









日立の持つ技術基盤









環境

再生エネルギー、 電動化、水素化の 本質課題解決による ネットゼロ実現 電動化システム

SiC パワーデバイス

系統電力制御

再生エネルギー のデジタル証明

水素混焼発電

水素製造

2-5 電動化の取り組み



電動化システムの駆動効率を最大化し、カーボンニュートラル実現へ貢献

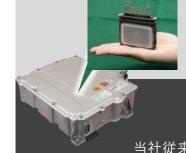
バリューチェーン全体のCO。排出量削減

企業活動全体で環境価値の創出を加速するため "2030年度自社の生産におけるカーボンニュートラル"を新たに宣言 2030年度カーボンニュートラル宣言

原材料・ 部品の調達

生産

輸送/使用/ 廃棄・リサイクル



高効率インバータ

日刊工業新聞 十大新製品賞 [2019年]

両面冷却モジュールによる 高出力密度EV用インバータ

当社従来製品比で2倍の高電圧化(800V)と2.7倍の 高出力密度化(94.3kVA/L)を実現 [20<u>19年10月]</u>

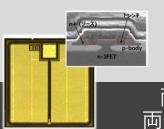


高効率モータ*

市村地球環境産業賞 [2020年]

アモルファス磁性合金箔による 省エネ産業用モータ

IECの最高基準値IE5をレアアースを含まない磁石で実現



低損失SiCパワーデバイス

耐久性と低消費電力特性を 両立した新構造SiCパワーデバイス

開発当時(2018)と比較し、短絡耐量20%向上と抵抗40%低減を実現し、TED-MOS®性能を業界最高レベルに引き上げ

*本技術の一部は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業にて開発 IEC: 国際電気標準会議, TED-MOS: Trench Etched DMOS-FET

2-6 エネルギー分野における取り組み(1)



再生可能エネルギー導入拡大に対応した電力系統制御、エネマネシステムを提供

オンライン電力系統制御

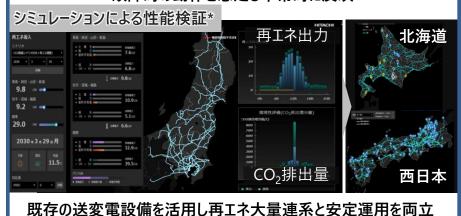
平常時の運用と緊急時の対策を融合した世界初のリスク予見型オンライン系統制御で再エネ連系量を拡大

平常時 (経済的な運用)



緊急時 (故障時の対策)

故障時の動作を想定し平常時に反映





2-7 エネルギー分野における取り組み(2)



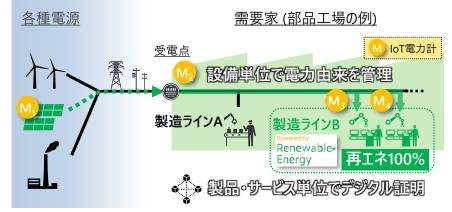
設備やサービスごとの再生可能エネルギー使用状況の見える化を実現

再エネ100%使用をデジタル証明するシステム

スマートメーターとブロックチェーン技術を活用し、設備の再エネ利用を管理し、製品・サービス単位でデジタル証明を実現







製品・サービスの再エネ目標達成に向けたソリューション提供

オフィス/マンション

丁場

電動モビリティ

グリーン調達や製品の使用・廃棄段階での証明など サプライチェーン全体に対象を拡大

2-8 水素社会に向けた取り組み



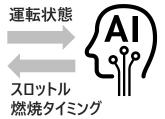
持続可能な水素バリューチェーン実現に向けたシステム・材料技術を開発

高効率水素混焼発電システム

多様な燃料の組合せや組成変動に対応した発電システム により、水素の柔軟な利活用を実現

■AI制御:燃料の組成変動に追従し運転状態を適正化





■水素混焼発電の実証



福島県の研究支援事業にて デンヨー興産・産総研と 発電システム実証** 「2017-19年度」



^{*1「}福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業」の採択を受けて事業部にて実施

*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業として実施 CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

レジリエンス

社会・環境変化に対応した お客様のビジネス・レジリエンス の向上、および、 国土強靭化など社会

インフラのレジリエンスの向上

IoTコンパス

サプライチェーン 最適化

スマート製造

社会インフラ保守

防災支援

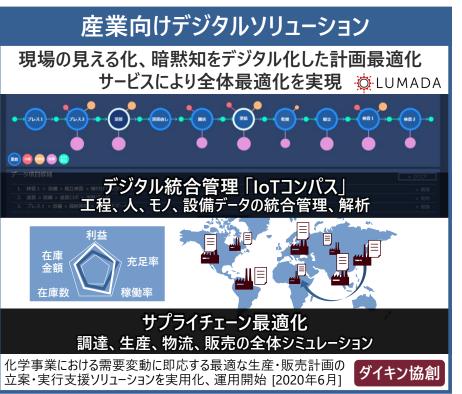
ドロ-ン 運行管理

2-9 産業分野におけるレジリエンス向上の取り組み



事業環境の変化に柔軟に対応可能なバリューチェーン最適化を実現







医療・医薬分野における安心・安全の取り組み 2-10



計測×デジタル、バイオ×ITで人々のQoL向上

生化学免疫分析

機械学習を利用した画像処理技術の適用により、 検体分析の正確性と処理能力を向上



新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗体測定にも対応

新型コロナウイルスの抗体を定量的に測定 研究用検査薬発売のお知らせ [ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社, 2020年10月]

再生医療

再生医療のバリューチェーンを支える基盤を提供

■細胞自動培養装置

大日本住友製薬・京都大学 協創*

拡大培養

分化誘導 治療用細胞 患者

細胞大量自動 培養装置 iACE2 (日立)

iPS細胞由来ドパミン神経前駆細胞を用いた パーキンソン病治療医師主導治験 に対する細胞製造に適用[2021年1月発表] (細胞製造:大日本住友製薬、治験:京都大学)

* AMEDの支援を受けて、大日本住友製薬ならびに京都大学と共同で細胞大量自動培養技術を開発しました。 「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」JP18be0104016

■トレーサビリティ

アルフレッサ、製薬企業、医療機関 協創

再生医療等製品の バリューチェーン全体の 統合管理プラットフォーム

製薬企業 物流企業



細胞の採取・生産・輸送・投与の情報トレース

再生医療等製品の全工程データ

日立がアルフレッサなどとの協創を通じて、国内初の再生医療等製品のバリューチェーン 全体の細胞・トレース情報を統合管理するプラットフォームを構築[2020年8月]

2-11 セキュリティ分野における安心・安全の取り組み



サイバー、フィジカルでの人々の活動における安心・安全を提供



人流·行動可視化

人や荷物のAI映像解析により、 ♣LUMADA 駅・空港など公共エリアの安全・安心を提供





駅・空港・商業施設・公共機関などの監視・警備の業務効率化と高度化を支援する「高速人物発見・追跡ソリューション」を販売開始[2019年10月]東京ドームのプロ野球公式戦における感染対策「人流可視化ソリューション」技術検証[2020年11月]

[三菱商事、アクティフバンク、日立ヨーロッパ 2020年9月]



研究開発戦略

Contents

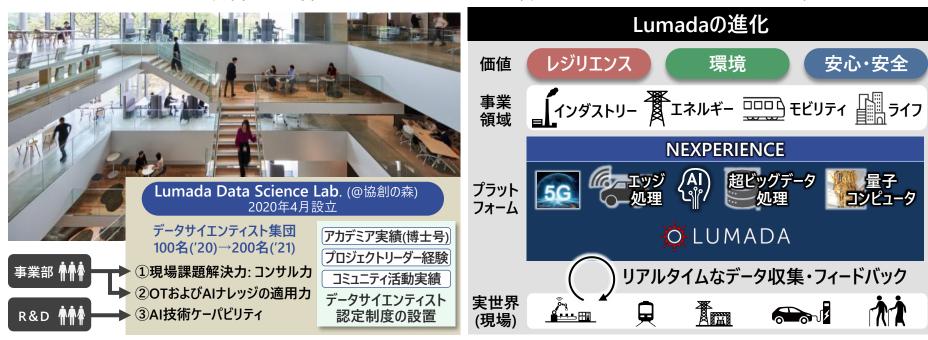
- 1. 研究開発グループのめざす姿
- 2. 価値起点でのイノベーション創出
- 3. Lumada事業拡大に向けた技術開発加速
- 4. まとめ

3-1 Lumada Data Science Lab. の設立



「協創の森」にデータサイエンティストのトップ人財を結集

データ利活用の技術やノウハウを集約し、研究開発と事業のスパイラルアップのサイクルを構築日立独自の顧客協創体系NEXPERIENCEを活用したLumada事業拡大を推進



3-2 AIの取り組み



AI倫理に基づく技術開発を推進、国際コンペティションにて上位入賞

プライバシー

保護

公平性

実現

適正開発・

利活用

AI倫理

人間中心社会を構成するAI技術の発展に向けて 「AI倫理原則」を策定(2021年2月 ニュースリリース) _{行動規準} 実践項目

法令遵守

セキュリティ

重視

透明性・

説明責任

- 1. 持続可能社会実現のために、 AIの開発、利活用を計画します
- 2. 人間中心の視点で、AIを社会 実装します
- 3. 提供価値が長期間にわたり持続 するよう、AIを維持管理します
- Lumada Data Scienceラボの実案件に対して「AI倫理原則」をもとにしたチェックリストにて運用開始
- AI倫理確立に向けた取組みをホワイトペーパーにて公開



3-3 5G活用ソリューションの取り組み



リアルタイム制御ユースケースに向けて5G実証環境を整備し、協創を推進





コラボティブ ロボティクス

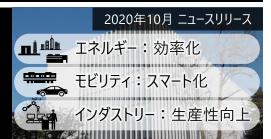


5Gを活用した産業ソリューション開発を推進

日本:協創の森

5G活用 <u>リア</u>ルタイム制御

O LUMADA



ローカル5G環境を整備 社会インフラ向けDXソリューション協創を加速

AR: Augmented Reality © Hitachi, Ltd. 2021. All rights reserved.

3-4 量子コンピュータの取り組み



大規模化に優位なシリコン量子コンピュータの研究開発を産官学連携にて推進



社外連携

JST ムーンショット型研究開発

大規模集積シリコン 量子コンピュータの研究開発 (日立製作所、神戸大学、 東京工業大学、理化学研究所)

量子イノベーション イニシアティブ協議会

量子コンピュータ向け アプリケーションの研究開発 (東京大学、慶應義塾大学、 他、9企業)

^{*}N. Lee et al., "Enhancing electrostatic coupling in silicon quantum dot array by dual gate oxide thickness for large-scale integration," Appl. Phys. Lett. 116, 162106 (2020) 本研究の一部は、JST【ムーンショット型研究開発事業】グラント番号【JPMJMS2065】の支援を受けて実施しています。



研究開発戦略

Contents

- 1. 研究開発グループのめざす姿
- 2. 価値起点でのイノベーション創出
- 3. Lumada事業拡大に向けた技術開発加速
- 4. まとめ



環境・デジタル分野の研究開発を強化し、 カーボンニュートラルを牽引するグローバル・イノベーション・リーダーをめざす



将来予想に関する記述



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがありえます。 その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ·COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ·為替相場変動
- ·資金調達環境
- •株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- 価格競争の激化
- ・ 人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合弁及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

Hitachi Social Innovation is

POWERING GOOD

世界を輝かせよう。

HITACHI Inspire the Next